

アンキロサウルス類（アンキロサウリア）は、四足歩行の恐竜で、背中に堅い「骨の鎧」を持っています。鎧にはこぶや棘がついていたり、しばしば先にハンマーのような骨の塊が付いていたり、とてもユニークな姿をしています。頭骨は頑丈な作りで、頭の大きな割に歯が小さく、丸みを帯びた形をしています。

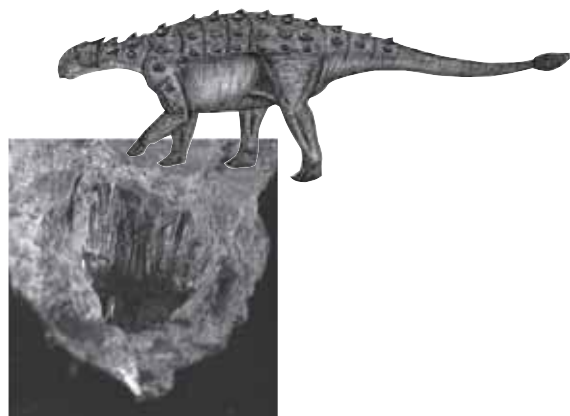
アンキロサウルスのなかまの化石は、世界各地で発見されています。化石記録を見ると、ジュラ紀～白亜紀にかけて生息していたことがわかります。アンキロサウルス類の中には「ノドサウルス科」と「アンキロサウルス科」というグループがあります。これらの恐竜では、その歯には大きな違いがあります。

ノドサウルス科の恐竜は白亜紀前期に最も繁栄し、白亜紀後期まで生

恐竜時代への旅

第6話

アンキロサウルスのなかま



DATA

御船町で発見されたアンキロサウルス類の歯の化石。歯が噛み合わさった部分がある。右上の絵はアンキロサウルスの想像図（絵／同館 宮本厚子）。

き残っていました。一方、尾に骨の塊を持っているアンキロサウルス科の恐竜は、白亜紀後期後半の地層から多くの種類が発見されています。中でもアンキロサウルスは、とても大きく、全長が9～10メートルと推定されています。

御船町でも、アンキロサウルス類の歯の化石が発見されています。大きさは、約5センチ。歯の側面には縦に溝が刻まれています。根元の部分は膨らんでいて、その下はくびれて細い歯根につながっています。どちらかというとアンキロサウルス科の恐竜の歯に似ています。恐竜時代の御船にも、しっぽにハンマーを持ったアンキロサウルスのなかまがいたのでしょうか？これらの化石発見に期待したいところです。

（文・写真／恐竜博物館・池上直樹）

子育て日記



長男・駿太朗くん（8歳）
次男・涼太くん（7歳）
三男・啓太くん（2歳）
四男・雅弥くん（7ヶ月）

一人一人を大切に

4月に四男が誕生して、男ばかりの四兄弟となり、にぎやかな毎日を過ごしています。長男も8歳になり、小さい弟たちの面倒を何とかみてるようになりました。今では三男をお風呂に入れることもできます。どうしても、四男に手がかるので、とても助かっています。そうやって成長していく姿に、頼もしさを感じると共に、兄弟が多いのもいいのかなと感じています。

子育てに関しては、兄弟が多いのでバランスを常に気にしています。一人だけを特別扱いせず、可能な限り平等に接してあげたいと心がけています。

（文・写真／永野芳行お父さん・陣）

学校自慢

高木小学校

「恐竜学習」「体験学習」で活気あふれる高木っ子

日本初の肉食恐竜「ミフネリウ」の発見から30年。恐竜の郷、御船町として定着し、御船町恐竜博物館も脚光を浴びています。

そこで本校は、多数の化石が見つかったという郷土のことを学ぶ「恐竜学習」を通して、ふるさとへの理解を深め、誇りに思う児童の育成を目指しています。

恐竜博物館の協力で、10月に肉食恐竜や二枚貝の化石などの収蔵品を展示する「移動恐竜博物館」を開催しました。児童は、巨大な頭骨レプリカに触れ、「すごい」「大きい」と歓声を上げて喜んでいました。地域の老人会、保護者の方の来場もあり好評でした。

また、恐竜博物館・池上直樹学芸員の授業では、学年に応じて、恐竜の種類や地形のでき方、化石ができる過程を聞きました。児童は、恐竜が生息する太古の御船町をイメージしながら、興味・関心を高めることができました。

児童が制作した「私の好きな恐竜の絵」がパネルとなり1階廊下に展示され「ふるさと恐竜通り」として親しまれ

ています。

さらに、地域や保護者と連携した「茶摘み」「芋栽培」「米・大豆・小麦作り」など食育への取り組みや勤労を尊ぶ体験学習を行っています。収穫した芋の一部を地域の方に配ったり、収穫した米で地域の方と一緒に餅つきをして、つながりを深めています。

元気いっぱい、素直にがんばる活気あふれる高木っ子です。

（文・写真／高木小学校）



池上直樹学芸員の恐竜説明を真剣に聞く3・4年生

Library Information

町立図書館 カルチャーセンター1F
☎ 282-0888 休館日／毎週月曜日

無理

奥田 英朗 著

人口12万人の寂れた地方都市・ゆめの。この地で鬱屈を抱えながら生きる5人の人間が陥った思いがけない事態を描く渾身の群像劇。



新刊書情報

10月は61冊の本が入りました

- 児童書（24冊）
 - よみもの／あかりの花（君島 久子 著）
 - よみもの／リーベとおばあちゃん（ヨー・テンフィヨール 著）
 - よみもの／わからんちんのユコ（畠 崇 著）
- 一般書（37冊）
 - 小説／ハング（菅田 哲也 著）
 - 小説／神様のカルテ（夏川 草介 著）
 - 紀行／七十五度目の長崎行き（古村 昭 著）

Book おすすめ 今月の本

邂逅

堂場 瞬一 著

大学職員の失踪事件が起きる。心臓に爆弾を抱えながら鬼気迫る動きを見せる法月を気遣う高城だが…。



しずかでにぎやかなほん

マーガレット・ワイズ・ブラウン 著
レナード・ワイズガード 絵

幼い子どもの耳が音をとらえるという体験をマフィンという小犬を主人公に、あたたかく、おもしろく子どもに語りかけます。

（木倉小読み聞かせ・ヒッポの会）

